講義名	地域まちづくり特別研究Ⅰ				
科目区分	特別研究				
担当教員	西井　和夫				
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 ２時限				
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科／2017年度 人間社会学部 観光学科／2017年度 人間社会学部 人間社会学科／ 2017年度 経済学部 経済情報学科／2017年度 経済学部 経済学科／2017年度 商学部 マーケティング学科／ 2017年度 商学部 経営学科／2016年度 人間社会学部 人間健康学科／2016年度 人間社会学部 観光学科／ 2016年度 人間社会学部 人間社会学科／2016年度 経済学部 経済情報学科／2016年度 経済学部 経済学科／				
履修開始年次	３年生	単位数	2	講義コード	42099

主題と概要

これからの地域まちづくりに向けた課題とは何かを学び、またそれらの解決方策策定のための計画手法・経済/政策分析・マネジメント手法の体系とその基本的考え方を着実に習得することを主題とする。
　そのためにまず、経済学部における基幹・専門科目と地域まちづくりとの関連性について体系的な理解を深める。次に、具体の実践的な地域まちづくり事例を通して、基幹・専門科目群に関する専門基礎の重要性を理解するとともに、地域まちづくりに関連する計画手法・経済/政策分析・マネジメント手法の専門基礎の習得とともに、地域まちづくりと経済との関連性を総合的に学習する。

到達目標

地域まちづくりの実践的展開の最前線（事例）に接しながら、それらと経済学部の基幹・専門科目群との関連性および地域まちづくりのために必要な計画手法・経済/政策分析・マネジメント手法の専門基礎を体系的にわかりやすく理解する。
したがって、この到達目標は、地域まちづくりコースを履修する学生だけでなく、すべての経済学部学生にとって、『地域まちづくりと経済との関係』（すなわち、経済学部において地域まちづくりを学ぶ意義とその専門基礎）を総合的に理解することである。

提出課題

レポート作成（課題演習）

評価の基準

レポート:70%　出席点：30%

履修にあたっての注意・助言他

　特別研究ⅠとⅡは、可能な限り両者とも履修することによって到達目標に達成しやすくなる。
また、特別セミナーⅠの履修と学びによって、地域まちづくりに関する関心と興味が高まり、基幹・専門科目をより積極的に履修することになることを期待する。

教科書

プリント資料及び参考文献

＜教科書＞
　とくに無し
＜プリント資料及び参考文献＞
　講義の中で指示する

授業計画

1.　本講義の位置づけ・体系づけ(1)：地域まちづくりの経済学
2.　本講義の位置づけ・体系づけ(2)：「地域総合政策」との関係性
3.　地域まちづくりの捉え方（基本的考え方の確認）(1)「都市地域計画」「地域再生論」との関係
4.　地域まちづくりの捉え方（基本的考え方の確認）(2)「公共経営論」「公共政策論」との関係
5.　地域まちづくりの捉え方（基本的考え方の確認）(3)「地域交通政策」「地域観光政策」との関係
6.　地域まちづくりの諸事例からの理解(1)：公共事業の費用便益評価/経済効果分析事例(1)
7.　地域まちづくりの諸事例からの理解(2)：公共事業の費用便益評価/経済効果分析事例(2)
8.　前半部の確認テスト（課題演習）
9.　地域まちづくりの諸事例からの理解(3)：最近のプロジェクト事例紹介(1)
10.　地域まちづくりの諸事例からの理解(4):最近のプロジェクト事例紹介(1)
11.　これからの地域まちづくりを考える(1):これまでの地域まちづくりのための計画手法の再考
12.　これからの地域まちづくりを考える(2):エリアのマネジメント手法(1)
13.　これからの地域まちづくりを考える(3):エリアのマネジメント手法(2)
14.　これからの地域まちづくりを考える(4):エリアのマネジメント手法(3)
15.　後半部の確認テスト（課題演習）

予習・復習

予習は不要だが、復習は、受講後に各自で判断しなさい。

備考